

令和2年度 学校評価アンケート【生徒】の分析

肯定的評価・・・a「よくあてはまる」とb「ややあてはまる」を合わせたもの
否定的評価・・・c「あまりあてはまらない」とd「あてはまらない」を合わせたもの

◎肯定的評価が多いもの（今年度80%以上）

- ・20項目中13項目において、肯定的評価が多くなっている。
（昨年度の肯定的評価は、18項目中11項目）

○肯定的評価は多いといえないものの（今年度80%未満、60%以上）、比較的良い評価のもの

項目17：ホームルーム活動は意義がある	78.9%
項目15：家庭で学校に関する話をしている	78.3%
項目10：快適な学習環境を築くため、施設の整備に力を入れている	74.9%
項目1：校訓「日々新、又日新」を理解している	72.8%
項目16：学習してわからないことを質問などして解決している	68.9%
項目20：SDGsという名前を聞いたことがある	65.7%

●肯定的評価が少ないもの（今年度60%未満）

項目18：読書に励み、視野を広げようとしている	48.8%
-------------------------	-------

[まとめ]

- ① 回答率は86.8%と昨年度の99.0%から大きく減少しており、今年度の回答方式をWEB上に変更したことが影響していると考えられる。来年度はHR活動等の際に時間を取ってその場で回答してもらうようにするなど100%の回答を目指したい。なお、20項目中13項目が80%以上の高評価を得ており、おおむね本校の教育活動が生徒の実態を踏まえて行われていること、生徒がそれを受け止めていることがうかがえる。
- ② 項目12「先生は、体罰を行っていない。」は93.7%が肯定的と高評価であったが、引き続き100%となるよう努めていきたい。
- ③ 項目13「本校に通うことは将来にとって意義がある」や項目14「自分の学科、コース、科目選択に満足」、項目4「進路目標達成に向けた情報提供や計画的指導」において、約92%が肯定的評価であり、キャリア教育・進路指導面での満足度がうかがえる。
- ④ 項目16「学習してわからないことを質問などして解決している」は昨年度62.6%だったことと比較してやや増加しており、学習への意欲や主体性をもって取り組んでいる生徒が増えている。
- ⑤ 項目20「SDGsという名前を聞いたことがある」は今年度新たに設定した質問であるが、全校生の約3分の2に当たる生徒が聞いたことがあるということであった。関心を持っている生徒がいる一方で、SDGsの内容を深く理解している生徒は多くないと思われるので、今後、この世界レベルの課題に対する意識を高めていきたいものである。
- ⑥ 項目18「読書」については、学習センター（学校図書室）を中心に、「読書まつり」等の読書を推進する企画を実施しているが、今後も継続した取組みが求められる。
- ⑦ 自由記述していただいた意見については、教職員が適切に状況を把握して課題の共有を行い、その改善に努めていく。